

令和5年度政策評価シート (評価対象年度 令和4年度)

政策名	基本施策2	支え合う福祉の推進		
目指す姿	○ 住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、福祉の充実に努めます。			
指標名称	フリフリグッパ体操・シルバーリハビリ体操などボランティアの人数	担当課	保健福祉センター	
指標値	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和4年度)	達成率 (%)	
	270人	258人	92.6%	
指標分析	住民主体の地域介護予防活動を担うボランティアの育成や募集を実施しているが、社会構造の変化から退職年齢も伸び、ボランティア開始年齢が高くなっていることから、ボランティア数は緩やかな増加となっている。			
今後の方向性	退職年齢等の影響もあり、ボランティア開始年齢が高くなってきている状況にあるが、ボランティアを行うことは自身と他者双方の介護予防になることから、今後も住民主体の地域介護予防活動を担うボランティアの育成を継続し、ボランティアの活動を支援し、ボランティアを募集をしていく。			
指標名称	介護認定を受けても、軽度の状態を保っている人の割合 (軽度認定率) = 【要支援 (1・2) + 要介護 (1・2)】 / 高齢者数	担当課	福祉課	
指標値	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和4年度)	達成率 (%)	
	13.3%	8.75%	134.2%	
指標分析	健康・長寿の意識の高まりが浸透していることから元気な高齢者が多く、要介護認定者における軽度者の割合が高くなっている。			
今後の方向性	今後も高齢化はさらに進んでいくため、健康で安心して暮らせる地域づくりを継続していくためにも健康長寿の意識が高まる施策を積極的に取り組み、医療費や介護給付費の抑制に努めていく。			